

令和6年度 郷土を愛する心を育む教育についての取組

致遠館中学校の特徴

本校は、致遠館高校との中高一貫教育の先駆けとして開校しました。今年度で開校21年目を迎えます。校訓は、「Cultivate (自己啓発)」「Create (創造)」「Challenge (チャレンジ)」の頭文字をとって「3C」と呼んでいます。

中高一貫教育のメリットを生かしたカリキュラムや学校行事において、生徒一人ひとりが、自分の力を伸ばそうと生き生きと活動しています。致遠館祭・遠行・部活動・各種講演会・中学生の高校授業見学会など、様々な場面で高校生と関わることができます。



開校記念式典 (遠行・講演会)

毎年11月に開校記念式典を行っています。致遠館の名前の由来や、その精神を確認して、思いを新たにしました。また、記念講演会では、本校OBである、株式会社友樹飲料代表取締役社長友田諭様に「老舗ベンチャー経営の実践～オンリーワンからグローバル企業へ～」と題し、ご講演いただきました。友田様の佐賀での取り組みなどについて、生徒は話に聞き入っていました。本年度は、あいにくの雨により、その後の遠行は中止となりました。(遠行は佐賀市内を友人と歩きながら、親睦をふかめ、心身を鍛えるために毎年企画。写真は実施年度のもの。) 来年度は晴天に恵まれることを願っています。



佐賀県立致遠館中学校



学校所在地 T 849-0919 佐賀市兵庫北四丁目1番1号

TEL 0952-33-0401 FAX 0952-34-1041

生徒数 1年生 120名 2年生 120名 3年生 120名

エリアスタディ (総合的な学習の時間)

総合的な学習の時間に個人研究に取り組んでいます。1年生は「佐賀」、2年生は「日本」、3年生は「世界」と調査対象の枠を広げていながら、3か年で系統的に研究できるように、テーマを設定して取り組んでいます。1年生では、佐賀の文化・地理・歴史・産業・経済・社会問題などについて、テーマを設定し、調査、探求、表現活動を行います。

インターネットや文献等から情報を集め、現地調査・アンケート調査・インタビュー調査・実験などを行いながら、課題解決に迫っていきます。3学期には全員の発表会、その後、学年代表者による全体発表会を行って、研究の成果を披露しました。



各教科での取り組み

一例として、

社会科・・・地理における佐賀の地域調べ学習。歴史における「佐賀の七賢人」を通じた学習。公民における佐賀県の課題とその背景を考える学習。
道徳科・・・佐賀も含めた日本全国の郷土学習
理科・・・佐賀を視点とした、様々な自然現象の考察
英語・・・外国に佐賀を紹介する手紙のやり取り など
各教科「佐賀」の視点を取り入れながら、授業づくりをおこなっています。